

9月定例議会 町政報告

町政報告要旨

▼令和元年度普通交付税交付額の決定について

町の普通交付税交付決定額は17億765万8千円で、前年度当初算定額15億8,407万1千円と比較し、1億2,358万7千円、7・8%の増となっています。

また臨時財政対策債発行可能額は9,137万5千円で、対前年度比2,348万1千円・20・4%の減となりました。

この2つを合わせた実質的な交付税では、対前年度比1億10万6千円、5・9%の増となっています。

当町の場合、基準財政需要額では、国の地方財政計画に基づく「包括算定経費」及び「人口減少等特別対策事業費」が減となったものの、「公債費」において平成27年度に発行した「明治百年通りにぎわい創出事業」等に係る過疎対策事業債の元利償還金の増に伴い交付税措置分70%相当額について966万2千円の増となったほか、臨時財政対策債振替相当額の減などから、総額で対前年度比2,129万3千円の増となりました。

基準財政収入額は、平成30年度算定において、法人税割額が過大に算定されたことからその

令和元年度第4回町議会が9月3日から13日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等12議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

精算措置がなされるなど、この税目の基準税額は1億1,016万円の減となり、総額で対前年度比1億503万円の減となっています。

普通交付税交付額の大幅な増については、法人税割の算定額の減が、主な要因です。

令和元年度予算において普通交付税額は15億221万9千円、臨時財政対策債は9千万円を計上していたことから、これらをあわせた留保財源は2億681万4千円となっています。

▼地域おこし協力隊員の委嘱について

8月1日付けで地域おこし協力隊員として「佐藤 学(まなぶ)」さんを任用しました。

佐藤さんは、神奈川県出身で、20年ほど前に都内で知り合った町出身者との縁がきっかけとなり、「小坂七夕祭」に毎年参加していました。そんな中、小坂町の募集内容を知り、応募するきっかけとなったようです。

活動内容は、移住希望者の相談対応、移住体験機会の企画立案、町の情報発信や移住者の受け入れサポートなど、移住定住全般について、企画財政班に勤務して活動していただきます。

▼地域公共交通等について

豊口タクシー合資会社が運行している「上向七滝線」において、

運行経路の変更と運賃の改定を、10月1日から行います。

交通空白地帯であった藤原地区への延伸を行うものであり、新設するバス停留所は「道の駅こさか七滝」となります。



運行経路は、あけぼの地区から樹海ラインを進み、道の駅で折り返して町道上向1号線に入り、錫地区までとなります。町道上向1号線は、12月から3月までの冬期間は通行止めとなることから、冬期間は現在とほぼ同じ経路を運行します。

なお、この運行経路の変更に伴って、乗車実績がほとんど無い「渡ノ羽留所」と「鳥越留所」を廃止します。

また、運賃については、あけぼの地区から町中心部までを片道200円から100円に、つじ平地区から町中心部までを片道400円から300円に引き下げます。

町営バス野口線についても乗車実績がほとんど無い「渡ノ羽留所」を廃止します。

運転免許証の自主返納による不便の軽減と公共交通の利用促進対策としては、運転免許証を自主返納した方について、1枚当たり100円の割引券100枚つづりを1回のみ交付しま

す。

町営バス野口線、上向七滝線、十和田湖地区乗合タクシーでの利用が可能となります。

▼普通共用林野の運営状況について

関門設置場所については、樹海ライン沿いの5か所を実施しました。徴収期間は、5月24日から6月17日までの25日間でした。

期間中の入林者数は、延べ人数で、町外者3,002人、町内者769人、計3,771人となり、前年比で、町外者は428人の減、町内者は14人の増、計414人の減となりました。

なお、入林許可証は、294人の町民に交付しています。収支決算見込みは、収入が約362万円に対し支出は約309万円、およそ53万円の黒字となる見込みです。

▼康楽館歌舞伎公演について

今年の公演は1日2公演を2日間行い、入場券は前売りで全席が完売し、満員御礼でした。人気役者でもある松本白鸚さん、松本幸四郎さん親子の同時襲名披露公演でもあったためと考えています。

今回の公演のさらなる盛り上げを図るため、菓子メーカーの不二家と系列会社のダロワイヨ・ジャボンの協力と松竹の許可をいただき、特製マカロン1,000個の販売を行いました。

た。マカロンは、最終公演を待たずに完売し、今回の歌舞伎の盛り上がりを感じました。

▼プレミアム付き商品券について

プレミアム付き商品券は、市町村が対象となる人に対して、1人あたり2万5千円の商品券を2万円で販売、25%のプレミアムが付きます。

販売等に関する経費は、国から全額が交付されます。

この商品券を購入できる対象者は、二つの要件があり、一つ目は、今年度の住民税が非課税である方、ただし住民税が課税されている方に扶養されている方と、生活保護の受給者等は除かれます。

二つ目は、平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子どもがいる世帯の世帯主です。該当する子どもの人数分の商品券を購入できます。

▼水稲の生育状況について

今年の水稲については、6月中旬と7月中旬はやや低温傾向でしたが、その後高温多照で経過したこと、出穂(しゅつすい)期は平年並の8月4日となりました。また、出穂後も高温で経過していることから、収穫時期は平年よりも早まる見込みです。

水稲定点調査では、穂数は1㎡当たり521本で平年比110%と多く、1穂着粒数は64・5粒で平年比95%と少ない状況です。1㎡当たりの総粒数(そ